
◎議案第 1 号 平成 26 年度白老町立介護老人保健施設事業
特別会計補正予算（第 1 号）

○議長（山本浩平君） 日程第 1、議案第 1 号 平成 26 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 1 号）を議題に供します。

提案の説明を求めます。

野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） 議案第 1 号 平成 26 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 1 号）。

平成 26 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 1 号）は次の定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 810 万 6,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 億 1,043 万 4,000 円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

平成 26 年 5 月 30 日提出。白老町長。

次の「第 1 表 歳入歳出予算補正」につきましては記載のとおりでございますので、説明は省略させていただきます。4 ページ以降の歳入歳出事項別明細書を説明させていただく前に、今回の補正につきましては、介護老人保健施設事業特別会計の収支決算不足がほぼ明らかになったことに伴う収支不足を地方自治法施行令第 166 条の 2 の規定に基づき、平成 26 年度会計から繰上充用するものでございます。それでは、事項別明細書の歳出から説明させていただきます。6 ページをお開き願いたいと思います。2、歳出、5 款繰上充用金、1 項 1 目繰上充用金の 810 万 6,000 円の計上でございます。内容といたしましては、平成 25 年度における繰り上げ充用金は 910 万 4,000 円であり、25 年度の単年度収支が 99 万 8,000 円の黒字となる見込みでございますので、平成 25 年度繰上充用金 910 万 4,000 円から単年度黒字額 99 万 8,000 円分を差し引きいたしまして、今回 810 万 6,000 円の繰上充用計上させていただきたいと思います。続きまして、歳入説明させていただきます。4 ページをお開き願いたいと思います。繰上充用の財源といたしまして、1 款サービス収入、1 項 1 目、1 節介護サービス費 810 万 6,000 円の増額で、歳出で説明した繰上充用見合いの歳入でございます。以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしく願いたします。

○議長（山本浩平君） ただいま担当課のご説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方どうぞ。ございませんか。

7 番、西田祐子議員。

○7 番（西田祐子君） おはようございます。今の件についてですけれども不足が 810 万 6,000 円ということで、これを繰上充用するということなんですけれども、当初計画してたときよりも、結局入所者の数とか、そのようなもので、どの程度、計画が達成できたのか、できていなかったのか

その辺もうちょっと詳しく説明していただければありがたいと思います。

○議長（山本浩平君） 野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） まずは25年度の施設の入所状況等についてご説明させていただきます。当初予算的には平均入所人数が25人、平均介護度3.49人で、計画したところでございます。平成25年度実績といたしまして、平均入所人数が23.41人平均介護度2.96でございました。平均年齢といたしましては86.54歳でございます。そういう中で当初予算的には3カ年に1度の退職手当組合の精算負担金というのが25年でございまして、約780万の支出があったんですけども、当初単年度赤字、ちょっと出るんじゃないかという計画だったんですけども、24年度准看護師が1名退職いたしまして、その補充分ということで臨時職員を採用いたしました。ということでやはり人件費の抑制を図れたということと、それとスタッフ一同経費削減に努めたということで、また、冬季間における入所人数がふえましたので、その関係で99万8,000円の単年度の黒字が出てきたという結果でございます。以上です。

○議長（山本浩平君） 7番、西田祐子議員。

○7番（西田祐子君） 当初確か昨年の中半9月頃までちょっと入所者の数も少なかったと記憶しているんですけど、後半かなり頑張られたと思うんですけど、今年度の予定としましてですね、今のところどのような状況になっているのか、実績、実際には介護度2.96とちょっと低くなってきておりますので、こういう傾向が今後も続くのかその辺もう少し詳しく教えていただければと思います。これで最後にしようと思っておりますので、説明できる場所がありましたら最後までお願いします。

○議長（山本浩平君） 野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） 現在、26年度の施設状況でございます。4月、5月と経過しているところですけども、当初の予算的には平均入所率25人と26年の4月1日が入所数は26人入ったんですけども、5月末の本日現在は21人という中でどういう平均介護度が2.8人と、そういう若干下がっている中でございます。その内訳といたしましては、26年の4月1日現在26人の入所があったんですけども、寿幸園さんとか、そういうところ特養さんに3名の転院。1名お亡くなりになったということと、後1名体調を崩されまして、2階病棟に入院しているということで現在21名の施設状況になっております。ということで今後2名の入所予定がございまして。小さい会計でありますので、今後単年度黒字化目指すためにやはり平均25人以上の、入所者を要するものと考えております。という中で、今後引き続き新規入所に向けた努力することと、スタッフ一同経費削減等徹底した中で何とか810万6,000円の単年度、累積赤字額を少しでも縮めるように努力していきたいと考えております。

今、要介護の1の方が6人、要介護2の方が5人、要介護3の方が2人、要介護4の方が3人、それで要介護5ということであり、介護1と介護2の方がちょっと多いということがやっぱり平均介護度が下がっている諸条件だと考えております。

○議長（山本浩平君） ほかがございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号 平成26年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔挙手全員〕

○議長（山本浩平君） 全員賛成。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。